



市民協働政策提案事業「外国人も住みやすい郡山市にすっぺ事業」

「共生社会と日本語教育ー令和時代の日本語教育を考えるー」

を開催します

令和元年8月27日

郡山市文化スポーツ部

国際政策課

担当：伊東 瑞歩

TEL：924-3711



SDGs Goals17

「グローバル・パートナーシップを活性化する」ため、外国人も住みやすいまちづくりや、新しい時代の共生社会、コミュニティ形成をみんなで考えるシンポジウムを開催します。

- 1 日時 9月7日(土) 午後1時～午後4時15分
2 会場 市役所特別会議室(本庁舎2階)
3 テーマ 共生社会と日本語教育ー令和時代の日本語教育を考えるー

- 4 対象 日本語教育に興味、関心のある日本語教育関係者、
外国人雇用事業者、在住外国人、一般市民等
※ どなたでも参加いただけます。

- 5 申込み Eメール又は電話でお受けします。
※ お申込み、お問い合わせは、一般社団法人ふくしま多言語フォーラムまで。

Eメール：info@fmf81.org

電話：024-905-1589



※ このQRコードからも
お申込みいただけます。

6 プログラム

基調講演(午後1時10分～午後2時10分)

テーマ：「外国人財と日本社会をつなぐ『架け橋人財』への期待とその育成」

講師：インターカルト日本語学校 校長 加藤 早苗 氏

クロストーク×フォーラム(午後2時20分～午後3時50分)

テーマ：「わたしたちの日本語教育」

登壇者：インターカルト日本語学校 校長 加藤 早苗 氏

福島大学人間発達文化学類 准教授 中川 祐治 氏

LACO 労働協力有限会社 教育部 部長 山ノ内 健太郎 氏

一般社団法人ふくしま多言語フォーラム 理事 永島 恭子 氏

※ 各登壇者のプロフィールは、別紙をご覧ください。

インターカルト日本語学校 × ふくしま多言語フォーラム

共生社会と日本語教育

－令和時代の日本語教育を考える－

平成30年末現在、日本に暮らす外国人は約273万人で、この30年で約3倍に増加しています。また、平成30年12月には「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が、令和元年6月には「日本語教育の推進に関する法律」が成立するなど、外国人を取り巻く状況が大きく変わるとともに、日本語教育に求められる役割や日本語教師の活動の場も広がってきています。

今回のシンポジウムでは、外国人も住みやすいまちづくりの実現のために、市民、事業者、行政の役割について、令和時代の日本語教育の視点から考えます。

2019年9月7日（土）

13:00～16:15

場 所 郡山市役所特別会議室

定 員 100名（先着順）

参加費 無料

※当日は福島事務所（福島市）でも視聴できるようオンライン配信を予定しています。こちらでご視聴をご希望の方はお問い合わせください。



加藤早苗氏



中川祐治氏



山ノ内健太郎氏



永島恭子氏

郡山市では、協働のまちづくりの推進を図るため、市民活動団体等から、その専門性、柔軟性等を生かした地域課題および社会的課題の解決や市民サービスの向上等につながる公益的な事業を募集し、市と協働により実施しております。令和元年度は、（一社）ふくしま多言語フォーラムが提案した「外国人も住みやすい郡山市にすっぺ事業」が採択されております。

お申込み こくちーずPRO：<https://www.kokuchpro.com/event/fmf/>

お問い合わせ （一社）ふくしま多言語フォーラム（担当：永島）
E-mail: info@fmf81.org 電話: 024-905-1589



プログラム

- 1) 開会の辞 13:00-13:10
- 2) 基調講演 13:10-14:10
加藤早苗氏 (インターカルト日本語学校校長)
「外国人財と日本社会をつなぐ『架け橋人財』への期待とその育成」
- 3) クロストーク×フォーラム 14:20-15:50
「わたしたちの日本語教育」
加藤早苗氏 (インターカルト日本語学校)
中川祐治氏 (福島大学)
永島恭子氏 (ふくしま多言語フォーラム)
山ノ内健太郎氏 (LACO労働協力有限会社)
- 4) 中間事業報告 15:50-16:05
- 5) 閉会の辞 16:05-16:15

登壇者プロフィール



加藤早苗氏

インターカルト日本語学校 校長

1988年よりインターカルト日本語学校で留学生のための日本語教育に携わり始める。その後、インドネシアでの日本語教師経験を経て、ビジネス日本語研修の企画運営、日本語教師養成、地域での日本語教育、海外の日本語教師対象の日本語教授法講座実施など活動の幅を広げている。2008年より10年間、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の委員を務める。その縁で、日本各地のボランティア講座で、主に文化庁「標準的カリキュラム案」をテーマとする講座を多数担当。2012年から福島県でも、福島市、郡山市、いわき市、田村市、須賀川市等で、福島県国際交流協会主催の文化庁受託事業の講師を務めている。

福島大学人間発達文化学類准教授

1975年大分県別府市生まれ。広島大学大学院教育学研究科日本語文化教育学専攻博士課程後期を修了後、別府大学文学部講師を経て現職。専門は日本語学、日本語教育（地域日本語教育）。大学院生時代から留学生への日本語教育に携わる。現在は、ふくしま子どもの日本語ネットワーク会長のほか、2018年に有志で一般社団法人ふくしま多言語フォーラムを立ち上げ、言語（日本語）を通じた統合的な地域コミュニティ形成のための活動を行っている。目下、ボランティアベースの日本語教育、地域ベースの日本語教師とはどういったものかを探究中。



中川祐治氏



山ノ内健太郎氏

LACO労働協力有限会社教育部部長

1993年福島県河沼郡会津坂下町生まれ。福島大学人間発達文化学類卒業。卒業後はベトナムに渡り、現地の送り出し機関で働く。しかし、経営者の不正行為に不信感が募り退社。現在のLACO労働協力有限会社に就職し、現在はベトナム人技能実習生の募集・教育・派遣を担当。ベトナム人技能実習生を対象に日本語教育および、マナー、生活講習も行いつつ、教師のマネジメントや教材の作成、顧客対応なども担当。高額の手数料や過剰な接待、日本側の労働問題等が取りざたされるこの業界の是正に取り組む。国内外の取材多数。学生が笑顔で帰国できるよう奔走中。

郡山市出身。一般社団法人ふくしま多言語フォーラム理事。郡山市国際交流協会主催日本語講座講師。福島大学非常勤講師。明海大学大学院応用言語学研究科修了。これまで約20年にわたり福島県内在住の外国人の日本語指導に携わるかたわら、日本語ボランティア養成講座の講師なども務める。



永島恭子氏